

さらなる食の安全のために コープは歩みはじめています。

「CO・OP手作り餃子」による重大中毒事故で、多くの皆様に多大なご迷惑をかけたことを心からお詫び申し上げます。当件について、通常の残留農薬値とは比べようのない高濃度の農薬がなぜ混入したのか、原因は未だ究明されていません。私たちはこのような状況を真摯に受け止め、日本生活協同組合連合会とともに新たな決意で動き出しました。そして、想定できる原因と未然に防ぐために必要だったことをあらゆる角度で検討し、一つひとつのリスクを減らす取り組みを進めています。

きずきます

原料の調達から商品のお届けまでのリスクを見直し、食品安全マネジメントシステムを構築します。また同時に、コープ商品を約6,000品目から約4,000品目に削減し、一つひとつの商品の管理水準を引き上げます。

コープ商品の検査体制を強化します。
コープ商品の検査を3,500件から5,500件に拡大。商品検査センターを15名増員し、81名体制にしました。2009年までには100名体制にします。

海外で生産するコープ商品の品質管理を強化します。
すべての製造日ごとに残留農薬検査を実施しています。また中国では、現在すべての製造時に職員が立ち会っています。

コープ商品の工場点検を拡大します。
工場点検担当を増員し、コープ商品の工場点検数を2倍に増やします。また、工場のリスクを洗い出し、薬剤や出入管理など新たな点検項目を追加します。

商品のお届けまでのプロセスを見直します。
お客様のお手元に商品が届くまで責任を持って管理するために、宅配事業では配送車両やお届け容器への新たな防犯対策に着手しました。店舗では店頭の商品のチェックを強化しています。

そなえます

商品をお届けしたあとのお客様のお申し出や、商品の汚れなどから、異常の予兆を的確に把握。危機の発生や被害の拡大を未然に防げるよう、迅速に対応できる体制を整備します。

商品の異常の原因を解明します。
苦情を専門的に分析する担当や、有症苦情の原因を専門的に究明する担当を配置しました。

情報共有システムを確立します。
お客様のお申し出や商品の異常などの情報を、全国の生協やメーカーと共有できるシステムを確立します。

万が一の事態にも迅速に対応します。
万が一、重大な事故が発生した場合に備え、被害拡大防止と人命をすべてに優先した対応マニュアルづくりを進めています。

ひろげます

情報をオープンにし、組合員・消費者・産地・メーカーなどの皆様との連携を拡大。日本の農業の振興や食の安全のための社会システムづくりを推進します。

生産履歴を積極的に開示します。
商品をつくる人と届ける人の取り組みを、店舗や商品カタログでご紹介しています。コープ商品については原料・原産地情報をウェブサイトを開示。お客様の安心のためにコミュニケーションを進めます。

社会システムの確立に取り組みます。
行政や事業者で分散している食品の安全情報を一元化し、消費者をさまざまな問題から守る社会システムづくりに積極的に取り組みます。

つくる人との協力を広げます。
食料自給率を高めるため、都や県ごとの農協や生産者団体と提携をはじめています。また、地元産・国産の商品の取り扱いを増やしていきます。

商品回収について、かさねてお願いいたします。

今一度、冷蔵庫などをご確認いただき、万が一右記商品がございましたら、決してお召し上がりならず、お買い求めの生協までご連絡くださいますようお願いいたします。

回収商品【CO・OP手作り餃子】 JANコード: 4902220526208

お問い合わせは
下記フリーダイヤルまで

co-op
コープネット

いはらきコープ とちぎコープ コープぐんま ちはコープ さいたまコープ コープとうきょう コープながの コープにいがた コープネット事業連合

www.coopnet.jp ☎ 0120-934-182【受付時間：9時～18時】

※2008年6月5日に「市民生協にいがた」は、「コープにいがた」に名称変更しました。